

大学院等高度副プログラム「日本におけるマイノリティ教育の理論と実践」

プログラムの趣旨

誰一人取り残さない社会の実現をめざして国連サミット（2015）で採択されたSDGsの目標の一つに「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」（目標4）が掲げられています。日本でも2016年に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（教育機会確保法）が公布され、全国で夜間中学校の設置・整備が進められているほか、何らかの困難や特別なニーズを抱える児童生徒への教育・支援および課題の多い学校への支援に力が注がれています。とはいえ、まだ成果は十分とは言えません。特に近年、増加・多様化の傾向が著しい外国にルーツをもつ児童生徒への教育・支援は焦眉の課題です。本プログラムは、こうした国際的・全国的な教育課題の解決に実働的に貢献し得る高度な専門的知識・技能をもつ社会人の育成・輩出をめざします。

プログラムの到達目標（修了時に身に付く能力）

本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。

- ①教育学の基礎知識と日本におけるマイノリティ教育の現状と課題について理解している。
- ②日本のマイノリティ教育の現状と課題について自分の意見を持ち、論じることができる。
- ③日本語教育と母語保障に関する専門基礎の知識を獲得している。
- ④①～③の専門的知識・技能を、フィールドで課題解決にむけて適用することができる。
- ⑤マイノリティ教育／日本語教育・母語保障を主題とするアクションリサーチを実践することができる。

授業担当教員からのメッセージ

岡部美香

人間科学研究科教授／グローバル日本学教育研究拠点（グローバル人材育成部門）兼任教員

私は、このプログラムの取りまとめと1年次の必修科目「教育哲学特講」、2年次の「総合人間科学実習Ⅰ・Ⅱ」を担当している岡部美香（人間科学研究科）です。

2023年度春・夏学期の「教育哲学特講」では、教育学を履修するのが初めてという受講生も含めて、近代以降の学校教育の歴史を、「差異、差別、格差はどう違うのか」、「教育の領域でなぜ中心——周縁構造が生じるのか」という視点から改めて振り返りながら、これからのマイノリティ教育のあり様について、受講者全員で議論をしました。

また、「総合人間科学実習Ⅰ・Ⅱ」では、受講生が大阪府立福井高校、同西成高校、大阪府守口市立守口さつ

き学園夜間学級、大阪市旭区社会福祉協議会で、外国にルーツを持つ児童生徒のみなさんや「課題が多い」といわれる学校のみなさんから、多くのことを学ばせていただいています。受講生のコメントをご覧いただければ、本プログラムを通して、受講生がいかに豊かな実践知を身につけているかがわかると思います。

本プログラムは、諸般の事情により、残念ながら来年度で受講生の募集を停止しますが、夜間中学校を始めとする大阪府内の学校等との連携・協力によるフィールドワークは継続する予定です。関心のある方は、ぜひ、担当教員までご連絡ください。



受講生からのメッセージ

古守真凜

人間科学研究科博士前期課程2年

私は守口さつき学園夜間学級にて、フィールドワークを行いました。そこでは、主に2つの活動を行っていました。1つ目は、外国ルーツの生徒さん達と一緒に日本語を学ぶことです。生徒さん達とは、一緒に日本語の文章を書いたり読んだりしました。また、生徒さん達に漢字の読み方を教えたり言葉の意味を教えたりもしました。2つ目は、大阪大学の留学生が行う授業のサポーターをすることです。今年度は、ハンガリーからの留学生とモンゴルからの留学生に、先生としてさつき学園にて、それぞれの国の文化について教えていただきました。私はさつき学園の生徒さん達と一緒にその文化を学んだり、通訳することを通して留学生と生徒さん達の橋渡し役を担ったりしました。

上記の主な2つの活動以外にも、今年度はさつき学園の学校行事にも、いくつか参加させていただきました。運動会では、さつき学園の生徒さん達も他の夜間中学校の生徒さん達も一緒になって、競技に踊りに楽しんでいる光景を見させていただきました。私自身も参加でき、とても楽しかったです。さつき学園の生徒さん達と守口市の新任の先生方との交流会では、生徒さん達が書いた作文を聞かせていただきました。生徒さん達が書いた作品を直接聞くことができ、いろんなことを学ばせていただきました。

上述のフィールドワークは、私の修士論文作成にもつながりました。フィールドワークの過程で私が感じた、さつき学園の生徒さん達にとっての学びとはどのようなものなのかという問いを基に、修士論文を執筆しました。修士論文では、生徒さん達にインタビューもさせていただき、生徒さん達の生の声を聞かせていただく貴重な機会にも恵まれました。

中西美裕

人間科学研究科博士前期課程2年

今年度は大阪府旭区の社会福祉協議会が母体となって行われている学習支援教室および居場所づくり事業でフィールドワークをさせていただきました。主に中学生を対象に行われており、通っていた方が大学生になるとスタッフとして関わってくれるなど地域に根ざした活動を行っていました。少人数ゆえにスタッフと生徒が個別に関わることができ、信頼関係の構築や丁寧な学習支援ができていたのだと感じました。これまで、学習とは距離を置いた居場所づくりの現場を中心に観察させていただいていたため、学習を通して生徒の将来展望を聞いたり、そこから家庭の課題が見えてきたりするなど、新たな関わり方やアプローチができることを知る良い機会となりました。